

代表質問



南 恵子 議員 (共産)

暮らしも経済も財政も破綻させる消費税増税に反対を

耐震診断士のマンパワーについては十分だ。家具の転倒防止は高齢者等のいる世帯も対象とする。増設の考えはない。建て替えが可能なら一体として進むが、まずは地震で住宅が倒壊しないよう改修支援を行う。準耐火構造と同等の効果がないため、費用補助の考えはない。

区民に増税押し付けながら、巨額の税金つき込む開発はやめよ

① 価格に消費税を転嫁できない商店などは、倒産が加速する。消費税増税に反対を。

区長 ① 国の責任で検討と議論がなされるべきだ。賛否を述べることは差し控える。

防災対策はいのちを守ることを第一に、木造住宅耐震化を強化せよ

① 耐震改修促進計画が進まない理由は。② 木造住宅耐震診断の無料化や耐震診断士の増員、家具転倒防止器具設置助成の対象拡大などの充実を。③ 築年数の高い木造アパートなどの防災対策として区管住宅の増設を。④ 住宅を倒れにくくすると火災発生等を防ぐのに、なぜ耐震化と不燃化を別々に考えるのか。⑤ 外壁に耐火性ボードを張る改修工事に補助をしては。

防災まちづくり事業部長

① 区民の意識が課題と考え、さらなる啓発を行う。② 一般診断の無料化等の考えはない。

るからだ。⑥ まちづくりビジョンを打ち出し、開発を望ましい方向に誘導する。⑦ 区として考える問題ではない。

介護保険料・後期高齢者医療保険料・国民健康保険料 これ以上の値上げは中止を

① 介護保険料は⑦さらなる多段階化と住民税非課税者への引き下げを。② 国の負担割合の引き上げを求めている。③ 低所得者の利用料軽減を。④ 国庫補助の軽減措置を恒久的に。⑤ 国庫負担を増やすよう求めている。⑥ 特養ホームや老人保健施設の建設を。

健康福祉事業部長

① ⑦13段階にする等配慮した。② 必要に応じ要望をする。③ 国制度の枠の中で対応すべきだ。④ 恒久化する考えはない。⑤ 従来より国が十分な財政責任を果たすことを要望している。⑥ 条件が整えば検討する。

あらためて原発からの撤退と自然エネルギーへの転換を求める

① 原発からの撤退を国に求めている。② 太陽光発電パネルを⑦すべての区有施設に設置しては。③ 助成額の引き上げで区民の意欲を引き出すようには。④ 自然エネルギーの調査等をしては。⑤ 特殊電気事業者と契約しては。

都市環境事業部長

① 国の責任で判断すべき事項だ。② 改築等の際に可能な限り導入していく。③ 助成や対象の拡大など普及啓発の強化に取り組んでいる。④ 研究を重ねる。⑤ 順次拡大に努める。

一般質問



藤原 正則 議員 (無品)

施政方針について

① 平成24年度予算の基本的な考えは。② 国の支出についての見直しと、区の財政運営は。③ 区の組織について。④ 道路や公園など、区民がよく利用する所管がわからなくなっている。今回の改正で是正するのか。⑤ スパンがあまりにも大きい課や部、職員が50人を超えている課などがあるが、問題点は。⑥ 都区のある方検討会について。⑦ 検討会の現在の到達点と今後の見直しは。

緊急経済対策について

① 3年間無利子融資について、これまでの取り組みをどう統括しているのか。② 返済期間10年の経営安定化資金を新設したねらいは。③ 融資が焦げついた場合、ゆくゆくは区民の負担増につながるのでは。④ プレミアム付商品券は良質な施策だが、同じやり方や額ではマンネリ化してしまふ。大型店での使用やプレミアム率アップ、増額等に対する考えは。⑤ 海外進出推進事業であるバンクコでの事業は継続し、拡大するのか。⑥ 町工場への具体的な支援施策は。

地域振興事業部長

① 約6千500件の融資を行い、区内経済への波及効果も高いと認識している。② 融資を一本化し、月々の返済額を下げるなど、経営を支援する。③ 信用保証協会による全額保証で成り立つており、保証を決める際に十分審査をしている。④ 地元商店街での購買意欲の喚起等が特色で、今後もこの考えに基づき実施する。⑤ 24年度も継続して実施する。⑥ ものづくり地域企業ネットワーク再生事業を新設し、区による商談会の開催などにより、支援

の充実を図ってきた。24年度はより充実させていく。

待機児童解消について

① 待機児童解消に講じてきた対策は評価するが、保育所の利用割合が増加しており、さらに対策が必要となる。乳幼児人口の動向と保育園の申し込み率の推移をどう把握し、待機児童対策を展開するのか。

子ども未来事業部長

① 人口動向や社会経済情勢による保育需要の変化等により申し込み率は増減する。待機児童対策は、区財政への影響を極力減らし、多様な施策を講じていく。

高齢者対策について

① 在宅介護の必要性は認識

しているが、いざというときに入所できる特別養護老人ホームの必要性は高い。杜松小学校跡と平塚橋会館跡の施設の概要と入所のスケジュールは。② 特養ホーム等の増設の計画は。③ 高齢者住宅の現状と課題等は。④ 6月に開設予定の大井林町高齢者住宅について⑦建設の目的は。⑧ 応募状況等は。

健康福祉事業部長

① 杜松小跡は地域密着型施設とし、26年度開設予定だ。平塚橋会館跡は24年度に基本設計をし、詳細を決めていく。② 条件が整えば増設を検討する等だ。③ 10棟219戸だ。見守り等を必要とする者が約3割で生活相談が増加している。④ 要介護状態でも住み続けられるサービス付住宅とした。⑤ 総募集戸数を超える応募があった。

議員研修会を開催しました

品川区議会では、議会の調査・研究活動の充実を図るため、有識者を招き、議員研修会を実施しています。

第14回目となる今回は、平成24年2月9日(木)、品川区第三庁舎講堂で開催しました。

講師として、岩手県宮古市長山本正徳氏をお招きし、「東日本大震災からの教訓・復興に向かって」と題して、講演をしていただきました。

当日は、区議会議員や区長、区職員合計147名が受講し、熱心に耳を傾けました。

また、講演終了後には、活発な質疑が行われました。



宮古市長 山本 正徳 氏

